

- 問1 ある北海道の自治体の農業産出額を確認したところ、乳用牛の産出額が突出して高く、一方で米や野菜の産出額はほぼゼロに近いという特徴が見られた。この自治体が位置する場所として最も適当なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
- 北海道中央部の盆地帯
 - 石狩川下流の石狩平野
 - オホーツク海沿岸の平野部
 - 根室半島付近の根釧台地
- 問2 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。
 - 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。
 - 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。
 - 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。
- 問3 北海道の農業では、1経営体あたりの経営耕地面積が約30.6ヘクタールと全国平均の約14倍に達する大規模な経営が行われています。一方で、自営農業従事者に占める65歳以上の割合が増加し、総農家数が減少しているという課題があります。このような背景から導入が進められている、ロボット技術やICTを活用した「スマート農業」の主な目的として最も適切な説明はどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）
- 労働力不足や高齢化に対応し、作業の負担軽減や効率化を図ること
 - 化学肥料の使用を一切禁止し、すべての農作業を人力に切り替えること
 - 経営面積を縮小することで、小規模な家族経営農家を保護すること
 - 手作業による伝統的な農法を維持し、農産物の希少価値を高めること
- 問4 北海道ではパルプ・紙・紙加工品製造業が地域の主要な産業の一つとなっています。この工業が北海道で発達した背景として、最も適切な理由を選びなさい。（2021年 京都府公立入試 類似）
- 海外から輸入した木材チップの加工に特化した貿易港があるため
 - 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため
 - 内陸部に高度な技術を持つ機械部品工場が集積しているため
 - 大規模な消費地である東京圏に隣接しているため
- 問5 北海道では、生産された生乳の多くが飲用ではなくバターやチーズといった乳製品の原料（加工用）として利用されています。このように、北海道で加工用としての割合が高い理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
- 関東地方などの大消費地から離れているため、生乳のまま輸送するよりも、保存性を高めた製品に加工する方が効率的だから。
 - 大規模な牧草地で飼育される乳牛から取れる生乳は、小規模農場のものに比べて水分量が多く、飲用には適さない性質を持っているから。
 - 北海道の気候は寒冷であり、冬場の生乳生産量が極端に減少するため、年間を通じて供給できる加工品に頼らざるを得ないから。
 - 政府の農業政策により、北海道産の生乳はすべて工業製品の原料として扱うことが法律で義務付けられているから。
- 問6 北海道の各地域における就業者の状況について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。なお、北海道では道東や道南の広い範囲において、特定の産業分類の数値が高い傾向にあります。（2026年 三重県公立入試 類似）
- 農業産出額が全国トップであるため、多くの市町村で第一次産業の就業者数が全体の過半数を占めている。
 - 札幌市などの大都市圏のみに商業が集中しているため、地方部では第二次産業の就業者が最も多い。
 - 大規模な工業団地の整備が進んだ結果、道内全域で製造業に従事する第二次産業の割合が第三次産業を上回っている。
 - 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。
- 問7 面積が約83,424平方キロメートルと都道府県で最大であり、多くの外国人観光客も訪れる北海道において、2005年に世界自然遺産に登録された半島はどこか。周辺にはラムサール条約に登録された湿原も存在し、豊かな生態系が守られている。（2017年 愛知県公立入試 類似）
- 知床半島
 - 積丹半島
 - 根室半島
 - 下北半島
- 問8 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。
 - 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。
 - 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから
 - 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いこと、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。
- 問9 北海道の東部に位置し、その東側に国後島を望むことができる半島は、独自の生態系が維持されていることからユネスコの世界自然遺産に登録されています。この地域の説明として正しいものはどれですか。（2025年 茨城県公立入試 類似）
- 知床半島では、流水がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。
 - 下北半島では、日本最北端の地として知られる岬があり、野生のニホンザルの生息地として世界自然遺産に登録されている。
 - 能登半島では、複雑な海岸線を利用した漁業と、伝統的な農法が一体となった世界自然遺産としての景観が維持されている。
 - 根室半島では、広大な釧路湿原とつながるラムサール条約登録地として、タンチョウの繁殖地を保護する取り組みが行われている。
- 問10 北海道の十勝平野などで見られる、一つの耕地をいくつかの区画に分け、年度ごとにジャガイモ、小麦、てん菜（ビート）、豆類などの異なる作物を順番に栽培する農業手法を何といいますか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
- 転作
 - 二毛作
 - 輪作
 - 二期作
- 問11 石狩川の上流域に位置し、旭川市などを中心とする上川盆地で見られる大規模な農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である
 - 夏の涼しさを利用して、キャベツやレタスなどを出荷する高原野菜の栽培が中心である
 - 冷涼な気候を活かして、牛を飼育し生乳を生産する酪農が最も盛んな地域である
 - 大規模な機械を用いた、小麦やてん菜（ビート）を生産する畑作が中心の地域である
- 問12 日本の小麦や小豆の生産割合に関する統計において、全国の約6割（61.8%）を占めて第1位となっており、第2位の福岡県（7.6%）や第3位の佐賀県（5.7%）を大きく引き離している都道府県はどこですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
- 北海道
 - 鹿児島県
 - 新潟県
 - 秋田県

答え合わせ・解説

問1	答え 4 根室半島付近の根釧台地	農業産出額において乳用牛が圧倒的で、米や野菜がほとんど生産されていない特徴は、別海町などの根釧台地に見られる典型的な農業形態です。この地域は冷涼な気候のため酪農に特化しています。石狩平野は稲作、オホーツク海沿岸（北見市など）は玉ねぎなどの畑作が盛んです。
問2	答え 3 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。	北海道の行政の中心である道庁は札幌市に置かれています。札幌市は、碁盤の目のように区画された市街地を持つ政令指定都市です。北海道内には、知床という世界自然遺産が存在するほか、青森・秋田両県にまたがる白神山地や鹿児島県の屋久島など、日本の自然遺産が所在する自治体は、その場所や名称が中学地理において重要な学習事項となります。
問3	答え 1 労働力不足や高齢化に対応し、作業の負担軽減や効率化を図ること	北海道の農業は一戸あたりの経営面積が非常に大きいという特徴がありますが、農業従事者の高齢化や減少により、人手不足が深刻な課題となっています。スマート農業は、自動運転トラクターやドローンなどの先端技術を活用することで、大規模な農地での作業を少ない人数で効率よく行い、身体的な負担を減らすために導入されています。
問4	答え 2 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため	パルプ・紙・紙加工品製造業は、木材を原料とするため、森林資源が豊富な地域で発達しやすいという特性があります。北海道は日本全体の森林面積の多くを占めており、この豊かな森林資源を背景に製紙業などが地域の主要産業へと成長しました。
問5	答え 1 関東地方などの大消費地から離れているため、生乳のまま輸送するよりも、保存性を高めた製品に加工する方が効率的だから。	生乳は鮮度が落ちやすく、液体であるため輸送コストもかかります。北海道は人口の多い関東地方などの大消費地から距離があるため、生乳のまま運ぶよりも、工場でバターやチーズに加工して保存性を高め、体積を減らしてから輸送する方が、経済的合理性が高いという背景があります。一方、都市近郊の酪農地帯では、新鮮さが求められる飲用乳の供給が中心となります。
問6	答え 4 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。	現代の日本の産業構造では全国的に第三次産業の割合が高いですが、北海道においてもその傾向は顕著です。広大な土地を利用した農業が盛んな道東地域や、歴史的景観や温泉資源を持つ道南地域などでは、観光客向けのサービス業や小売業が地域経済を支える重要な基盤となっています。そのため、都市部以外の市町村であっても、統計上は第三次産業の就業者割合が高い水準で維持されています。
問7	答え 1 知床半島	北海道の北東部に位置する知床半島は、流水がもたらすブランクトン起点とした海と陸の豊かな食物連鎖が評価され、世界自然遺産に登録されました。また、北海道には釧路湿原などラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録された湿地が数多く存在します。
問8	答え 4 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いこと、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。	東京都から北海道への移動は、距離が非常に長く時間がかかるため、新幹線などの鉄道よりも高速な航空機が選ばれる傾向が顕著です。一般に、交通手段の選択においては「4時間の壁」と呼ばれる基準があり、鉄道（新幹線）での所要時間が4時間を超える場合、航空機のシェアが圧倒的に高くなります。新潟県や大阪府は東京都からの距離が比較的近く、鉄道（新幹線）の利用割合が高い地域であるため、提示された統計データには合致しません。
問9	答え 1 知床半島では、流水がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。	知床半島は、2005年に世界自然遺産に登録されました。この地域は、冬に接岸する流水がもたらすブランクトンを土台に、魚類、それを食べる海獣や鳥類、さらに陸上のヒグマへとつながる豊かな生態系が、高い密度で維持されている点が評価されています。東側には北方領土の一つである国後島が隣接しています。
問10	答え 3 輪作	同じ土地で同じ作物を作り続けると、土壌の養分が偏ったり病害虫が発生しやすくなったりする「連作障害」が起こります。これを防ぎ、地力を維持するために複数の作物を計画的に組み合わせる栽培方法です。二毛作は1年間に2種類の異なる作物を育てること、二期作は同じ作物を1年に2回育てること、転作は米の生産調整などで別の作物を育てることを指します。
問11	答え 1 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である	北海道の旭川市周辺に広がる上川盆地は、かつては泥炭地などが広がる耕作に不向きな土地もありましたが、大規模な土地改良と石狩川の水の利用によって、日本有数の稲作地帯へと発展しました。北海道において酪農が盛んなのは主に根釧台地、畑作が盛んなのは十勝平野といったように、地域ごとの農業の特色を区別することが重要です。
問12	答え 1 北海道	涼しい気候と広大な土地を活かした畑作が非常に盛んな地域です。この都道府県は小麦や小豆だけでなく、じゃがいも（馬鈴薯）やてんさい（ビート）などでも全国1位の生産量を誇っており、日本の食料基地としての役割を担っています。選択肢にある新潟県や秋田県は米（稲作）、鹿児島県はサツマイモや畜産のシェアが高い県です。